

6 商工費

1 商工費 1 商工総務費

[担当：産業振興課] P. 261

2101 ネットワークフェア開催に要する経費 106,419 円 (109,610 円)

[一財 106,419 円]

○ 目的

誰もが安心して暮らすことのできる地域をめざし、市民、各種団体、行政のネットワークづくりを行う。

○ 内容

藤代スポーツセンター、県南総合防災センターを会場に各種団体の展示、模擬店、バザーの出店など、市民団体と市の共同イベント。

・ 消耗品費	チラシ用上質紙	17,064 円
・ 燃料費	発電機用ガソリン代	6,523 円
・ 印刷製本費	ポスター印刷代	65,772 円
・ 手数料	保健所への食品営業許可手数料	10,500 円
・ 賠償保険料	対人・対物賠償保険料	6,560 円

事務局は、まちづくり振興部、福祉部、教育委員会が持ち回りで務める。

平成 30 年度事務局担当課として実施。

○ 効果

「未来へ輝け とりでネットワークフェア 2018」というスローガンのもと、行政と市民・各種団体等が協力し合い、まつりを開催した。約 3,000 人の来場者があり、ひとつの市としてのつながりや、人と人のネットワーク形成を図ることができた。

1 商工費 2 商工振興費

[担当：産業振興課] P. 261

2001 商工業振興助成に関する経費 23,873,315 円 (27,369,123 円)

[その他 1,155,000 円 一財 22,718,315 円]

* 特財内訳

[使用料：駐車場使用料 1,155,000 円]

○ 目的

市商工会や市内商店街への助成等を行うことにより、市の商工業の発展及び地元消費の拡大に寄与することを目的とする。

○ 内容

①市営駐車場用地借上料 985,387 円

用地所有者：茨城県厚生農業協同組合連合会(東 1 丁目地先取手協同病院跡地)

駐車場貸出可能台数 40 台

②商店街活性化事業補助金 1,640,000 円

補助率：事業費の 1/2・限度額 200,000 円

10 団体(市内 7 商店会、東・西ロイルミネーション、ソニックガーデン)

- ③商工会事業補助金 19,184,232 円
 - 取手市商工会職員の人件費 16,873,200 円
 - 産業振興 I C T 推進事業 2,311,032 円

- ④とりで産業まつり補助金(第 37 回) 2,000,000 円

期 日	平成 30 年 11 月 3 日(土)、4 日(日)
場 所	取手緑地運動公園
参加者	47,000 人

○ 効果

商工会や市内商店会へ助成することにより、商工会事業の安定化や市内商店会の活性化に寄与することができた。

[担当：産業振興課] P. 263

2002 買い物弱者支援事業に関する経費 2,000,000 円 (2,000,000 円)

[国・県 1,000,000 円 一財 1,000,000 円]

* 特財内訳

[県補：生活環境づくり支援事業補助金 1,000,000 円]

○ 目的

既存スーパーの撤退、地元商店街の衰退、市民の高齢化に伴う買い物弱者への買い物環境の改善を図るために、市内に移動販売車を巡回する。

○ 内容

買い物が困難な市民に対して移動販売車にて生鮮三品等の買い物の場を提供する事業者に対し、取手市買い物弱者支援事業補助金交付要綱に基づき、人件費の一部(販売補助員)を支援する。 補助額 2,000,000 円

○ 効果

買い物環境の向上と販売補助員の配置誘導をすることにより、高齢者への買い物介助や見守り等、きめ細やかな対応に繋がる効果があった。

販売カ所数：19 地区 24 地点 利用者数：12,726 人

[担当：産業振興課] P. 263

2101 中小企業事業資金融資あっ旋事業に要する経費 95,426,403 円 (93,448,746 円)

[国・県 99,106 円 その他 33,003,300 円 一財 62,323,997 円]

* 特財内訳

[県補：関東・東北豪雨災害緊急対策融資利子補給費補助金 99,106 円]

[諸収入：自治資金融資金貸付金元利収入 33,003,300 円]

○ 目的

市内の中小企業者に対する事業資金の保証を強力に斡旋し、市内中小企業者の金融の円滑化を図ることにより、企業の安定と繁栄に寄与することを目的としている。

○ 内容

取手市中小企業事業資金融資斡旋制度

茨城県信用保証協会の基本財産である出捐金の拠出を行うとともに、市内金融機関に1年間の預託を行うことにより、融資実行利率を低利に抑え、制度の基盤を強固なものにし

た。また、制度利用者に対し保証料を補助することにより制度利用者の負担軽減を図った。

(1)制度の内容

内 容	自 治 金 融			振 興 金 融		
	設 備	1,000 万円	返 済 7 年	設 備	2,000 万円	返 済 7 年
運 転	1,000 万円	返 済 5 年	運 転	2,000 万円	返 済 5 年	
保証料	年 0.45%~1.90%					

(2)保証料補助の内訳

制 度	備 考
自治金融	新規 153 件、過年度 372 件
振興金融	新規 81 件、過年度 158 件
自治金融・振興金融保証債務残高	4,576,654,000 円 (1,009 件)

(3)その他(本制度に伴う経費)

制 度	金 額	備 考
自治金融預託金	33,000,000 円	市内金融機関 7 行 14 支店に預託 (平成 30 年 10 月 17 日~平成 31 年 10 月 17 日)
損失補償寄託金	7,500,000 円	茨城県信用保証協会に寄託

○ 効果

中小企業者が金融機関から事業資金の融資を受ける際、市が公的な保証人となることにより、借入が容易になり、中小企業の融資が円滑に実行され、経営の安定化が図られた。

[担当：産業振興課] P. 263

2701 中小企業育成事業に要する経費 1,700,680 円 (1,003,768 円)

[一財 1,700,680 円]

(1)産業振興チャレンジ支援事業補助金

○ 目的

市内で起業をした事業者に対し、起業する際に必要な初期費用を補助することにより、市内での起業を促進し、市内経済の活性化を図る。

○ 内容

一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク (Match とりで) で起業家カードを発行された起業者に対して、申請に基づき、10,000 円を限度に補助金を交付する。なお、補助金の対象となる経費は、市内で提供されたサービスや商品のみとする。

産業振興チャレンジ支援事業補助金 利用者 8 名 80,000 円

○ 効果

補助金を交付することにより、起業の促進及び市内経済の活性化が図られた。

(2)市民事業活動促進補助金

○ 目的

市民がおこなう営利活動や NPO 法人等の非営利活動での事業活動を促進し市内における経済活動の活性化をめざす。

○ 内容

市民が事業活動を行えるインキュベーションオフィス等の利用料金 (光熱水費、通信費その他事業者が実費として支払うもの及びオプションサービスにかかる費用をのぞく。)が月額 10,000 円以上の場合における当該利用料金の 100 分の 50 に相当する経費を最長で連続 12 か月間補助する。

民民事業活動促進補助金 利用者 13 名 1,147,000 円

○ 効果

補助金を交付することにより、市民の事業活動を支援することができ、市内経済の活性化を図ることができた。

(3) 市内特産品販路開拓促進事業 454,000 円

○ 目的

取手市の農産品を含む特産品を都内等で販売、出展する機会を設けることで、取手市の PR 機会の増大と、販路拡大による市内経済の活性化を図る。

○ 内容

農商工連携による市町村と千代田区の交流促進と会員相互の連携を図ることを目的に活動しているちよだフードバレーネットワークの会員として、各種サービスを活用する。

- ・ちよだフードバレーネットワークよりキッチンカー(移動販売車)を借用し、市内事業者に無料で貸し出した(10月4日～11月5日)。賃借料 54,000 円
- ・常設アンテナショップ「ちよだいちば」(千代田区)の売り場(棚)で、取手市特産品を販売(12月)。出店料 40,000 円
- ・スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会である「スーパーマーケットトレードショー」(2月13日～15日幕張メッセ)にブースを構え、市内 2 事業者が出展。出展料 360,000 円

○ 効果

当市特産品を市外で発信していく PR 事業を行い、市内業者の新たな事業展開のきっかけを創出し、販路拡大の支援をすることができた。

[担当：産業振興課] P. 263

2801 産業振興に要する経費 36,014,713 円 (84,356,235 円)

[国・県 4,674,000 円 一財 31,340,713 円]

* 特財内訳

[国補：地方創生推進交付金 4,674,000 円]

(1) 産業活動支援条例に基づく奨励金

○ 目的

企業の事業拡大に伴う土地・家屋・設備の固定資産税相当額(初年度 10/10、2 年目以降 5 年目まで 1/2)の施設奨励金及び市内に住所を有する従業員の新規雇用 1 人に対し 10 万円の雇用促進奨励金(初年度のみ)を交付し、企業活動の支援を行い市内経済の拡大を図る。

○ 内容

- ① 産業活動支援施設奨励金 施設奨励金 6 社 9 件 26,085,000 円
固定資産税相当額(建物・償却資産)(新規 1 社、継続 5 社 8 件)
- ② 産業活動支援雇用促進奨励金 新規雇用に対する奨励金 100,000 円
新規雇用者 1 社 1 名

○ 効果

固定資産税相当額及び従業員の新規雇用奨励金を交付することにより、企業の事業拡大や雇用確保の支援をすることで、市内経済の活性化を図ることができた。

(2) 創業支援事業

○ 目的

産業競争力強化法の施行に伴い、市は創業支援事業者（一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク）と連携して、創業支援等事業計画を作成し、各種創業支援事業に取り組んでいる。起業でまちを元気にする、をキーワードに起業家タウン取手の実現を目指す。

○ 内容

創業支援事業補助金 9,348,000 円

○ 効果

平成 29 年度より龍ヶ崎市と連携して創業支援事業に取り組んでいる。創業スクール、ビジネスプランコンテスト、起業相談、社長塾等の事業について、両市で連携して開催することで利便性や効率性が向上した。

[担当：産業振興課] P. 265

2901 空き店舗活用事業に要する経費 2,150,000 円 (4,520,000 円)

[一財 2,150,000 円]

○ 目的

市内空き店舗の有効利用、まちの賑わいづくり推進のため、市内空き店舗に新規出店する者に対し補助金を交付することにより、買い物がしやすい環境づくり及び活性化を図る。

○ 内容

①改装費補助 事業費の 1/2 補助（上限 100 万円）

②家賃補助 家賃月額額の 1/2 補助（月額補助の上限 5 万円）補助期間 12 か月

○ 効果

補助金を交付することにより、市内空き店舗への新規出店の促進ができ、まちの賑わい推進が図れた。

改装費補助 1 件 1,000,000 円 家賃補助 5 件 1,150,000 円

1 商工費 3 労働対策費

[担当：産業振興課] P. 265

2001 労働対策に関する経費 21,557,895 円 (1,902,730 円)

[その他 11,733,975 円 一財 9,823,920 円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 5,175 円]

[諸収入：生涯現役促進地域連携事業推進協議会貸付金元利収入 11,631,600 円]

[諸収入：生涯現役促進地域連携事業受託収入 97,200 円]

(1) 取手市地域職業相談室の運営に関する経費

○ 目的

地域職業相談室（取手市ふるさとハローワーク）において、国と市が連携しながら、職業相談・職業紹介サービスを提供し、安定した雇用機会の確保、就職の促進を図る。また、12 月には、取手駅前リボンビル 5 階に移転し、利用者の利便性向上を図る。

○ 内容

施設を 11 月末まで藤代庁舎 2 階に設置し、12 月 1 日からは取手駅前リボンビル 5 階に設置。国と市の共同で管理運営を行う。

業務時間	毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後5時		
主な業務	職業相談、職業紹介と求人情報の提供		
相談員	国 2名	受付事務	市 2名

需用費（光熱水費） 125,713 円

使用料及び賃借料 751,808 円

○ 効果

市内に地域職業相談室を設置したことで、身近で職業相談、職業紹介サービスを受けることが出来るようになり、利便性の向上と就職の促進が図れた。

平成30年度年間利用者数 7,917人

(2)生涯現役促進地域連携事業推進協議会貸付金 11,631,600 円

○ 目的

地域の実情に応じた高齢者(55歳以上)の多様な就業機会を確保するために、厚生労働省職業安定局委託事業である「生涯現役促進地域連携事業」を受託する、取手市生涯現役促進地域連携事業推進協議会に対し、事業実施に必要な事業費の貸付けを行った。

○ 内容

①総合相談事業（コンシェルジュ事業）

とりで生涯現役ネット相談来所者数 98人 ※12月～3月

②高齢者雇用新規開拓・啓発事業

87社訪問 新規高齢者求人 32件

③働き方意識調査事業

2,000人市民アンケート 665人回答（回答率33.3%）

④雇用者意識調査事業

229社アンケート 73社回答（31.9%）

⑤シンポジウム事業

平成31年3月15日(金)

『生涯現役社会の実現に向けたシンポジウム ～地域デビューのすすめ～』

第1部 基調講演

講師：林 マヤ氏 演題：林マヤのエンジョイライフ『農ドリーム農ライフ』

第2部 パネルディスカッション

テーマ：『地域デビューのすすめ』 パネリスト：各界・団体代表者等

第3部 関連団体紹介・相談コーナー

社会福祉協議会やシルバー人材センターをはじめとする17団体による紹介・相談コーナーの実施

⑥セミナー・スクール事業

1)「シニアのための起業成功ノート」

期日：平成31年3月5日(火)

会場：取手ウェルネスプラザ

講師：吉田 雅紀氏（一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク代表理事）

参加者数：15人

2)「今さら聞けない保険・年金のイロハ教えます」

期日：平成31年3月26日(火)

会場：取手ウェルネスプラザ

講師：市国保年金課職員

参加者数：11人

3) 「からだ測定会～今の「自分」がわかります～」

期日：平成31年3月27日（水）

会場：取手ウェルネスプラザ

講師：(株)リクルート・一般社団法人日本産業カウンセラー協会

参加者数：29人

4) 「新しいオトナ世代セミナー ～人生100年時代を設計しよう～」

期日：平成31年3月28日（木）

会場：取手ウェルネスプラザ

講師：菅原 育子氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任講師）

参加者数：22人

○ 効果

貸付けを実施することで、取手市生涯現役促進地域連携事業推進協議会において、地域の実情に応じた高齢者（55歳以上）の多様な就業機会の確保に向けた事業を展開することができた。

[担当：産業振興課] P. 267

2002 勤労青少年体育センター管理運営に関する経費 1,046,570円（6,267,275円）

[その他 391,850円 一財 654,720円]

* 特財内訳

[使用料：施設使用料 391,850円]

○ 目的

勤労青少年体育センターの適切な維持管理を行い、取手地域の勤労青少年等の健康増進・体力向上・地域社会の福祉増進を図る。

○ 内容

- ・ 需用費（光熱水費、修繕料） 605,047円
- ・ 役務費（火災保険料） 9,523円
- ・ 委託料（体育センター清掃委託料） 432,000円

○ 効果

施設の適切な維持管理を行うことにより、利用者の健康増進・体力向上・地域活動を行うための場として利用環境の充実に寄与した。

平成30年度利用者数 10,424人

1 商工費 4 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理費

[担当：産業振興課] P. 267

2001 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理運営に要する経費 13,324,301円
(11,566,399円)

[その他 1,310,204円 一財 12,014,097円]

* 特財内訳

[使用料：施設使用料 1,273,760円]

[手数料：コピー手数料 15,360 円]

[諸収入：印刷機使用料 21,084 円]

○ 目的

利用者が余暇を使い趣味の活動や学習活動をするために運営し、施設を良好な状態に保つために維持管理を行い、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

働く婦人の家の適切な維持管理を行う。主な経費は報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料である。

- ・報酬 2,989,800 円（一般職非常勤報酬）
- ・旅費 56,745 円（費用弁償）
- ・需用費 4,180,405 円（消耗品、光熱水費、修繕料、他）
- ・役務費 125,974 円（通信運搬費、手数料、他）
- ・委託料 3,443,613 円（清掃管理委託、夜間運営管理業務委託、他）
- ・使用料及び賃借料 389,364 円（コピー使用料、他）

○ 効果

施設の適切な維持管理を行うことにより、利用者の趣味の活動や学習活動を行うための場として、利用環境の充実に寄与した。平成 30 年度利用者数 43,682 人

[担当：産業振興課] P. 269

2101 働く婦人の家・勤労青少年ホーム活動に要する経費 265,111 円(227,932 円)

[その他 68,512 円 一財 196,599 円]

* 特財内訳

[諸収入：講座参加個人負担金 68,512 円]

○ 目的

働く婦人及び勤労青少年の福祉の促進と健全な育成を図る。

○ 内容

簿記 3 級講座 延回数 20 回 延参加人数 128 人

○ 効果

働く婦人及び勤労青少年に対する教養・趣味・レクリエーション・余暇等の活用の機会を提供し、地域住民との交流を深め、健全な育成と福祉の増進を図ることができた。

1 商工費 5 消費生活対策費

[担当：産業振興課] P. 269

2001 消費生活対策に要する経費 9,033,116 円(9,001,635 円)

[国・県 2,080,000 円 その他 19,440 円 一財 6,933,676 円]

* 特財内訳

[県補：消費者行政推進事業費補助金 2,080,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 19,440 円]

○ 目的

消費者の権利の尊重と自立のための支援及び苦情や被害を未然に防止するための情報を提供し、市民の消費生活の安全を確保する。

○ 内容

主な経費は、消費生活相談員（非常勤特別職）3名の人件費（報酬、共済費）、相談員等のスキルアップのための研修費。また、消費者被害防止のための啓発事業に係る消費者セミナー報償費、出前講座や街頭キャンペーン用啓発品としての消耗品費、消費生活展開催委託料等である。

・消費生活相談員報酬	6,480,000 円
・共済費	1,041,930 円
・報償費	236,400 円
・研修旅費	20,420 円
・需用費(啓発用品等)	427,734 円
・消費生活展実施委託料	650,000 円

(1) 消費生活相談業務

市民（消費者）と事業者との間に生じた商品やサービスに関する相談や助言、苦情、あっせん交渉等消費者被害の救済及び未然防止を図った。

業務日	月曜日～金曜日
相談時間	午前9時～午後4時
相談員数	3人
相談件数	1,618 (H29:1,111)

(2) 消費生活展

市民を対象に消費者問題を多面的かつ具体的に取り上げ、参加者に対し問題提起や啓発を行うことで消費者力の向上を図った。

(消費生活展)

開催日	平成30年10月5日(金)、6日(土)
場 所	福祉交流センター 多目的ホール
来場者数	526人 (H29:550人)

(パネル展示)

開催日	平成30年6月27日(水)～7月3日(火)
場 所	取手駅市民ギャラリー

(3) 消費者啓発事業

市民が消費生活に必要な知識を習得する機会を提供し、消費者被害の未然防止を図った。

(消費者セミナー第1回目)

開催日	平成30年7月25日(水)
場 所	藤代公民館ホール
事業概要	交通事故から家族を守ろう！ 講師：日本損害保険協会 南関東支部アドバイザー
来場者数	40人

(消費者セミナー第2回目)

開催日	平成30年11月14日(水)
場 所	ウェルネスプラザ 多目的ホール

事業概要	想定外の災害に備える！ ～東日本大震災を生き抜いた釜石の奇跡に学ぶ～ 演題：東京大学特任教授 片田敏孝
来場者数	350 人

(出前講座)

実施回数	23 回 (H29:23 回)
場 所	集会所・公民館・小学校学童クラブ室等
テーマ	悪質商法などの最近の事例と対処法について
対 象	高齢者クラブ・市内自治会・小学生等
参加者数	852 人 (H29:628 人)

○ 効果

市民の消費生活に関する相談（苦情、問い合わせ）では、相談者が自ら解決できるよう適切なアドバイスをしたり、様々な情報を提供することで、消費者被害の未然防止に尽力した。また、消費生活展、消費者セミナー、出前講座を通じて、消費者被害の現状や被害に遭わないための対処法等の情報を発信し啓発を行うことで、市民の消費生活の安全と保護に貢献できた。

1 商工費 6 観光費

[担当：産業振興課] P. 271

2001 観光事業に関する経費 34,289,000 円 (39,826,869 円)

[一財 34,289,000 円]

○ 目的

本市の観光事業の振興を図るため、市観光協会の各事業に対し助成を行い、郷土愛の高揚に貢献する。

○ 内容

- (1) 小堀古利根周辺の清掃管理委託料 360,000 円
- (2) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会負担金 526,000 円
(茨城県国際観光テーマ地区推進協議会負担金 70,000 円含む)
- (3) 市観光協会補助金 33,403,000 円

観光協会主催事業

行事名	期日	場所	参加者
いばらきよいとこプラン春 取手の魅力を体験！キリンビール&日本ファブテック見学ツアー	平成 30 年 4 月 8 日 (日)	市内各所	20 人
第 65 回とりで利根川大花火	平成 30 年 8 月 11 日 (土)	取手緑地運動公園	100,000 人
いばらきよいとこプラン秋 競輪場の熱い戦いを応援しようツアー	平成 30 年 9 月 29 日 (土)	市内各所	25 人
第 52 回とりで利根川 たこあげ大会	平成 31 年 1 月 12 日 (土)	取手緑地運動公園	2,000 人

第49回とりで利根川 どんどまつり	平成31年 1月12日(土)	取手緑地運動公園	2,500人
第6回とりで観光フォト コンテスト	平成31年 2月13日(水) ～3月28日(木)	ふじしろ図書館	-----
取手駅前にぎわいフェスタ	平成31年 3月23日(土)	取手ウェルネスプ ラザ及び取手駅西 口周辺	3,500人
第15回桜ライトアップ事業	平成31年 3月29日(金) ～4月14日(日)	老人福祉センター さくら荘	2,500人

観光協会補助事業

行事名	期日	場所	参加者
第41回こども天国	平成30年 4月29日(日)	取手緑地運動公園	25,000人
とりで夏まつり	平成30年 8月1日(水) ～8月23日(木)	市内各所	-----
第43回とりで利根川 灯ろう流し	平成30年 8月25日(土)	利根川河畔	2,500人
取手ひなまつり	平成31年 2月20日(水) ～3月3日(日)	市民会館、商工会 市内各商店	10,000人

常総観光促進協議会事業

構成組織：取手市・つくばみらい市・常総市・関東鉄道(株)

行事名	期日	場所	参加者
いばらきよいとこプラン春 常総地方初夏のイチオシバ スツアー	平成30年 5月19日(土)	常総地方各所	26人
いばらきよいとこプラン秋 食欲の秋！芸術の秋！常総 地方の秋！お月見コンサ ート&よいとこ欲張りツアー	平成30年 9月22日(土)	常総地方各所	22人
観光案内アプリ開発 (ふらっと！294)	取手市、つくばみらい市、常総市、関東鉄道(株)それぞれの 観光スポット等をGPS機能を使い、各市のオリジナルキャ ラが案内するスマートフォンアプリを製作 平成30年5月から運用開始、平成31年2月キャラクター音 声追加、3月言語設定に英語を追加		

観光協会参加事業

行事名	期日	場所	参加者
常総千姫まつり	平成30年 4月7日(土)、 8日(日)	常総市	10,000人
大相撲巡業 取手場所	平成30年 4月24日(火)	取手グリーンスポ ーツセンター	3,000人

荒川遊園水辺フェスタ	平成30年 6月24日(日)	東京都荒川区	7,000人
ツーリズムEXPOジャパン	平成30年 9月23日(日)	東京ビックサイト	-----
茨城・栃木・群馬三県フェスタ	平成30年 10月6日(土)	東京スカイツリー タウン	9,000人
茨城シクロクロス大会	平成30年 10月8日(月)	小貝川リバーサイ ドパーク	1,500人
キャノンオープンデー	平成30年 10月27日(土)	キャノン取手事業 所	1,500人
南相馬市交流自治体イベ ント	平成30年 11月2日(金) 、3日(土)	福島県南相馬市	18,000人
サイクルアート フェスティバル	平成30年 11月18日(日)	取手競輪場	12,000人
スプリングマルシェ	平成31年 3月23日(土) 、24日(日)	有楽町駅前(東京都 千代田区)	-----

○ 効果

とりで利根川大花火や、たこあげ大会、どんどまつり等の恒例行事は、天候にも恵まれ多くの観光客が来場した。近年では観光情報誌「るるぶ取手」の配布や、都内の観光イベントへの積極的な参加等によるPR効果もあり、市民だけでなく首都圏周辺からの来場者も増加している。また、駅前にぎわいフェスタにおいては、取手駅前の商業関係者や企業、市民団体等との協働により、駅周辺の賑わいの創出に向け地域一体となって取り組むことができた。

その他、常総観光促進協議会によるバスツアー事業や観光促進アプリの開発等、茨城県南の広域連携による観光誘客促進を図ることができた。